

報告事項 2（周知・報告）

ネイティブ英語教員の配置による今後の英語教育の展開について

標記について、別紙のとおり報告する。

平成 29 年 1 月 20 日

## ネイティブ英語教員の配置による今後の英語教育の展開について

### ～高度な言語活動を伴う英語 4 技能の総合的な育成～

#### (1) 英語教育をめぐる国の動き

- ・平成 28 年 12 月 21 日付けの中央教育審議会答申には、高等学校外国語科において「発信能力の育成を更に強化するための科目として『論理・表現』（『発表、討論・議論、交渉』などにおいて、聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりする統合型の言語活動が中心）を設定する」ことや「小学校高学年の外国語教育を教科として位置付ける」ことが盛り込まれている。
- ・平成 28 年 3 月 31 日付けの高大接続システム改革会議「最終報告」には、「英語については、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の四技能をバランスよく育成することが重要であり、四技能を測ることができる問題構成とする」ことが盛り込まれている。
- ・平成 25 年 12 月 13 日付けの「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（文部科学省）には、外部人材の活用推進の具体の施策として、「高度な英語指導力を有する ALT 等が単独で授業を実施可能に」することが挙げられている。

#### (2) 外部人材活用による英語 4 技能育成に係る大阪府の取組と課題

- ・SET を府立高校 17 校（平成 27 年度 10 校、平成 28 年度 7 校）に配置し、配置後 3 年間で、生徒に海外の大学に進学できる力（TOEFL iBT80 点以上）を育成すること、またこの講座を担える英語教員を育成することを目標に取り組んできた。
- ・その結果、SET 配置校では、TOEFL 講座については高度な言語活動を伴う英語 4 技能を育成する授業実践が進み、平成 27 年度に配置した 10 校では、1 年目で TOEFL チャレンジ 80 点取得者が 5 名出るなどの成果をあげている。
- ・また、各校で TOEFL 講座を引き継ぐことができる教員の育成も進みつつある。
- ・しかし、TOEFL 講座以外の英語の授業を 4 技能に対応したものにするためには、さらなる取組が必要である。
- ・また、SET 配置校以外の学校において、4 技能の育成に結び付く授業を行うためには、現在の英語教員と NET などのスタッフだけでは改革を進めることは困難である。
- ・したがって、今後は配置校 17 校とそれ以外の学校にネイティブの外部人材を導入し、4 技能を育成する授業改革と、この授業を実践できる英語教員の育成が必要である。

#### (3) ネイティブ英語教員の配置による今後の英語教育の方向性について

- ・SET 配置校、国際教養科設置校（5 校）をはじめグローバル化に対応した英語教育に取り組む学校にネイティブ英語教員を平成 30 年度より配置し、各校の 4 技能に対応した授業づくりと、授業を担える教員の育成を進める。
- ・次期学習指導要領改訂（平成 34 年度）までにネイティブ英語教員を配置する。

目標：府立高校 30 校

#### (4) ネイティブ英語教員の役割

- ・ 高度な言語活動を含めた4技能統合型授業を行うとともに、部活動顧問や校務分掌業務など、教員としての業務全般を担当する。
- ・ 研究授業や教科会議などの機会を利用し、教材や指導のノウハウを配置校の英語教員に普及していく。
- ・ 公開授業などの機会を通じて、他校にも指導実践を発信する。

#### (5) 期待される効果

- ・ 英語教員がネイティブ英語教員の授業実践に学ぶことで、ネイティブ英語教員による授業だけでなく、すべての英語授業で4技能を総合的に育成することができる。
- ・ 講義中心の授業から、生徒の言語活動中心の授業へと転換を図ることができる。
- ・ ネイティブ英語教員が校内の様々な場面で活躍することにより、たとえば、部活動、英語科の教科会議なども英語で行うようになることで、4技能に対応した英語教育の推進を加速することができる。

#### (6) ネイティブ英語教員に求める資質や能力

- ・ 外国語として英語を学習する生徒に対して、オールイングリッシュの4技能統合型の授業で英語力を向上させることに加え、高度な言語活動を通じて論理的思考力や批判的思考力も養成し、英語を母語とする者と討論や交渉ができる力を生徒に身につけさせる指導力を備えていること。
  - ・ 海外の大学への進学や留学を希望する生徒に対して、TOEFL iBTなどの指導を含め進路指導ができること。
  - ・ 業務に必要とされる日本語力を有すること。
- ※上記の資質や能力を測るために公募選考を行う。

#### (7) 採用形態

一般教員として採用

任 期：なし（定年まで任用）

給 与：一般教員と同じ

※特別免許（外国語（英語））を付与し、英語教員として任用

#### (8) ネイティブ英語教員を配置しない学校における4技能の総合的な育成について

- ・ 配置校における成果や指導事例を、研修や公開授業を通じて全府立高校に広め、配置校以外でも4技能の力を育成する授業改革を進めていく。
- ・ 大阪府公立小学校英語6カ年プログラム「DREAM」の実施や、小学校5・6年の英語の教科化により、今後、高校の英語授業における言語活動の更なる高度化が求められることから、ネイティブ英語教員を配置する約30校の進捗状況を見ながら、配置対象校の拡大を検討する。